年間授業計画

大泉桜高等学校 令和５年度（２学年用） 公民　　科目 公共

教　科： 公民　　科　目： 公共　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（１組：山口 ）（２組：井上 ）（３組：山口 ）（４組：井上 ）（５組：山口 ）（ 組： ）

使用教科書：（ ）

教科 公民　　の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】現代社会の諸課題を捉え、概念や理論を理解するとともに、適切に情報を収集し、まとめる技能を身に付け

【思考力、判断力、表現力等】現代社会の諸課題について、多面的・多角的に考察し、社会の形成者として公正に判断するとともに、適切

【学びに向かう力、人間性等】現代社会の諸課題を主体的に追究したり、解決しようとする態度を養う。

科目 公共　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代社会の諸課題を捉え、概念や理論を理解するとともに、適切に情報を収集し、まとめる技能を身に付ける。	現代社会の諸課題について、多面的・多角的に考察し、社会の形成者として公正に判断するとともに、適切に表現する。	現代社会の諸課題を主体的に追究したり、解決しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	青年期と社会参画	・私たちの生きる現代社会 ・青年期について考えよう ・悩むことについて考えよう ・ジェンダーについて考えよう ・学ぶことについて考えよう ・社会参画とキャリアについて考えよう	・自立した主体として公共空間における自らの在り方生き方について理解している。 ・社会参画の重要性について多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 ・公共的な空間における課題の解決を視野に、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	
	宗教・思想・伝統文化と社会	・宗教について考えよう ・日本の思想について考えよう ・日本の伝統と文化について考えよう	・伝統や文化、先人の取り組みや知恵に触れ、自らの価値観を形成するとともに、他者の価値観を尊重することについて理解している。 ・さまざまな集団の一員として、他者と協働していくことについて多面的・多角的に考察し、適切に表現している。	○	○	○	
	定期考査			○			
	倫理的な見方・考え方	・よく生きる古代ギリシャの思想 ・人とは何か古代中国の思想 ・動機と結果近代西洋の思想 ・公平と正義現代の思想	・先人の思想から公正や正義について理解している。 ・個人や社会全体の幸福の実現に向けて、公正や正義という視点から多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 ・公共的な空間における課題の解決を視野に、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	
	社会の基本原理と憲法の考え方	・近代立憲主義の原理 ・近代立憲主義の広がり ・日本国憲法 ・平等に生きる権利 ・自由に生きる権利 ・人間らしく生きる権利 ・人権保障の国際的な広がり	・民主主義、法の支配、人権などについて日本国憲法を踏まえて理解している。 ・民主主義や法の支配、日本国憲法の基本原理について多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 ・日本国憲法を踏まえて、現代社会の諸課題の解決に向けて主体的に取り組んでいる。	○	○	○	
	定期考査			○			
2学期	民主社会と政治参加	・政治と権力 ・議院内閣制と国会 ・権力分立と行政の役割 ・地方自治の役割 ・政党政治とメディア ・選挙制度とその課題	・法の規範の意義および役割、司法参加の意義などについて、現実社会での出来事や課題を基に理解している。 ・法的主体として現実社会での出来事や課題を基に、多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 ・法的主体として社会における課題の解決を視野に、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	
	国際政治の動向と平和の追求	・国家と国際法 ・日本の主権と領土 ・平和主義と日本の防衛政策 ・これからの日本の安全保障 ・国際連合の役割 ・国際協力と日本の役割	・社会の諸課題に関わる諸資料から、政治主体として必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身につけている。 ・国家主権、領土、日本の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割などについて主体的に取り組んでいる。	○	○	○	
3学期	市場経済のしくみ	・経済とその考え方 ・市場のメリットと限界 ・企業の目的と役割 ・政府の役割と財政の機能 ・日本の財政の課題 ・経済の変動	・市場経済の機能と限界、金融の働き、財政及び租税の役割などについて理解している。 ・市場経済の機能と限界、金融の働き、財政及び租税の役割などについて多面的・多角的に考察し、適切に表現している。	○	○	○	
	国際経済の動向と格差の是正	・国際経済のしくみ ・国際経済の枠組み ・グローバル化と自由貿易協定 ・国際経済の変化と課題 ・経済格差の是正	・経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる現代社会の事柄や課題について理解している。 ・経済主体として経済における諸課題について多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 ・国際経済の動向や格差の是正について主体的に取り組んでいる。	○	○	○	合計 0

年間授業計画

大泉桜高等学校 令和5年度（2学年用） 教理科　　科目 物理

教　科： 理科　　科　目： 物理　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（ １組：菊地 ）（ ２組：菊地 ）（ ３組：菊地 ）（ ４組：菊地 ）（ ５組：菊地 ）（ 組： ）

使用教科書：（ 新編 物理基礎 数研出版 ）

教科 理科　　の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】日常生活や社会との関連を図りながら、物理現象やエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究す

【思考力、判断力、表現力等】観察実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】物理現象やエネルギーに主体的に関わり、科学的に探求しようとする態度を養う。

科目 物理　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物理現象やエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につけるようにする。	観察実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物理現象やエネルギーに主体的に関わり、科学的に探求しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	日常に起こる物体の運動を観察、実験を通して探究し、それらの基本的な概念や法則を理解させ、運動とエネルギーについての基礎的な見方や考え方を身につけさせる。	力学（運動の表し方）	・身近な物理現象について、物理量の測定と表し方、分析の手法を理解している。 ・物体の運動の基本的な表し方について、直線運動を中心に理解している。 ・物体が直線上を運動する場合の加速度を理解している。	○	○	○	5
	日常に起こる物体の運動を観察、実験を通して探究し、それらの基本的な概念や法則を理解させ、運動とエネルギーについての基礎的な見方や考え方を身につけさせる。	力学（運動の表し方）	・物体に様々な力が働くことを理解している。 ・物体にはたらく力のつり合いを理解している。 ・運動の三法則を理解している。 ・物体が落下する際の運動の特徴及び物体に働く力と運動の関係について理解している。	○	○	○	5
	日常に起こる物体の運動を観察、実験を通して探究し、それらの基本的な概念や法則を理解させ、運動とエネルギーについての基礎的な見方や考え方を身につけさせる。	力学（運動の法則）	・物体に様々な力が働くことを理解している。 ・物体にはたらく力のつり合いを理解している。 ・運動の三法則を理解している。 ・物体が落下する際の運動の特徴及び物体に働く力と運動の関係について理解している。	○	○	○	5
	日常に起こる物体の運動を観察、実験を通して探究し、それらの基本的な概念や法則を理解させ、運動とエネルギーについての基礎的な見方や考え方を身につけさせる。	力学（運動の法則）	・物体に様々な力が働くことを理解している。 ・物体にはたらく力のつり合いを理解している。 ・運動の三法則を理解している。 ・物体が落下する際の運動の特徴及び物体に働く力と運動の関係について理解している。	○	○	○	5
2学期	日常に起こる物体の運動を観察、実験を通して探究し、それらの基本的な概念や法則を理解させ、運動とエネルギーについての基礎的な見方や考え方を身につけさせる。	力学（仕事と力学的エネルギー）	・運動エネルギーと位置エネルギーについて、仕事と関連付けて理解している。 ・力学的エネルギー保存の法則を仕事と関連付けて理解している。	○	○	○	15
	様々な物理現象を観察、実験などを通して探究し、それらの基本的な概念や法則を理解させ、物理現象とエネルギーについての基礎的な見方や考え方を身につけさせる。	熱（熱とエネルギー）	・熱と温度について、原子や分子の熱運動という視点から理解している。 ・熱の移動および熱と仕事の変換について理解している。	○	○	○	15
3学期	様々な物理現象を観察、実験などを通して探究し、それらの基本的な概念や法則を理解させ、物理現象とエネルギーについての基礎的な見方や考え方を身につけさせる。	波（波の性質・音）	・波の性質について、直線状に伝わる場合を中心に理解している。 ・気柱の共鳴、弦の振動及び音波の性質を理解している。	○	○	○	10
	様々な物理現象を観察、実験などを通して探究し、それらの基本的な概念や法則を理解させ、物理現象とエネルギーについての基礎的な見方や考え方を身につけさせる。	電気（物質と電気抵抗・磁場と交流）	・物質によって低効率が異なることを理解している。 ・交流の発生、送電及び利用について、基本的な仕組みを理解している。	○	○	○	5
							合計 65

年間授業計画

大泉桜高等学校 令和5年度(2学年用) 教科理科 科目 生物基礎

教　科： 理科　　科　目： 生物基礎　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（ 1組：佐藤(知)） （ 2組：佐藤(知)） （ 3組：佐藤(知)） （ 4組：佐藤(知)） （ 5組：佐藤(知)） （ 組： ）

使用教科書：（ 第一学習社 高等学校 新生物基礎(711) ）

教科　理科　　の目標：

【知識及び技能】日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

科目　生物基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・生物には、細胞からなる、遺伝物質を持つ、エネルギーを利用するなどの共通性が見られることを理解する。 ・様々な特徴をもつ脊椎動物を比較して、共通の特徴がみられる理由を考察する。	第１章　生物の特徴 第１節　生物の共通性	・すべての生物に共通してみられる特徴があることを理解している。 ・脊椎動物の共通性を見いだし、それが共通の祖先に由来することを考察できる。	○	○	○	6
	・エネルギーと代謝の関わり、代謝におけるＡＴＰの役割を理解する。 ・酵素の性質を理解する。 ・光合成と呼吸におけるＡＴＰの役割を理解する。	第１章　生物の特徴 第２節　生物とエネルギー	・エネルギーと代謝の関わり、代謝におけるＡＴＰの役割を理解している。 ・酵素の性質を理解している。 ・光合成と呼吸におけるＡＴＰの役割を理解している。	○	○	○	7
	・生物はさまざまな形質をもち、それを子孫に伝えている。そのことに遺伝子やＤＮＡが関わっていることに気づく。 ・遺伝子とＤＮＡ、染色体などがどのような関係にあって、どのように生物の形質を決めているのかを理解する。	第２章　遺伝子とその働き 第１節　遺伝情報とＤＮＡ	・生物の形質は遺伝子によって決まり、遺伝子の本体がＤＮＡであることを理解している。 ・ＤＮＡの構造と複製の仕組みを理解している。	○	○	○	7
	・ＤＮＡの遺伝情報はタンパク質合成を通じて発現することを理解する。 ・ゲノムの概念を理解する。	第２章　遺伝子とその働き 第２節　遺伝情報とタンパク質の合成	・ＤＮＡの塩基配列とタンパク質について理解している。 ・ＤＮＡをもとにタンパク質が合成される過程を理解している。 ・遺伝子の発現と細胞の分化について理解している。 ・遺伝子とゲノムの関係を理解している。	○	○	○	6
2学期	・ヒトのからだの調節に関する実験から、その調節に情報の伝達のしくみが関係していることを見いだして理解する。また、体内環境の維持に関する資料にもとづいて、ホルモンと自律神経の働きとの関係に気づき、体内環境が維持されているしくみを理解する。	第３章　ヒトの体の調節 第１節　からだの調節と情報の伝達	・体内での情報の伝達がヒトのからだの調節に関係していることを理解している。 ・内分泌系、自律神経の働きについて理解している。 ・体内の環境維持におけるホルモン、自律神経の役割を理解している。	○	○	○	10
	・免疫に関する資料にもとづいて、病原体を認識・排除する生体防御の仕組みがあることに気づき、そのしくみについて理解する。また、免疫のしくみの異常に伴う疾患や、医療への応用について理解する。	第３章　ヒトの体の調節 第２節　免疫	・生体防御のしくみを理解している。 ・免疫では、自然免疫と獲得免疫が協調して働くことを理解している。 ・免疫の仕組みの異常に伴う疾患や、医療への応用について理解している。	○	○	○	10
3学期	・地球上にはさまざまな植生が存在し、それらは生物と環境の関わり合いで成立していることを理解する。 ・植生は変化することを、その要因と関連付けて考察させ、バイオームは遷移の結果として成立していることに気づく。	第４章　生物の多様性と生態系 第１節　植生と遷移	・植物の生育に環境が与える影響について理解している。 ・植生の遷移とその要因について理解している。 ・バイオームと植生の遷移の関係について理解している。	○	○	○	9
	・生態にみられる生物の多様さに気づかせ、多様な生物間の関係性を理解さる。 ・生物どうしの関係が種の多様性に与える影響に気づかせ、生態系の保全の重要性を理解する。	第４章　生物の多様性と生態系 第２節　生態系とその保全	・生態系における種の多様性と、生物どうしの関係性を理解している。 ・生態系は常に変動しながらバランスが保たれているが、人間活動が大きな影響を与え、生態系のバランスが崩れることを理解している。 ・生態系の保全の意義を理解している。	○	○	○	10 合計 65

年間授業計画

大泉桜高等学校 令和５年度（２学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教 科： 保健体育 科 目： 体育 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 5 組

教科担当者： （１～５組女子：佐藤、和田、鳴海、町田）（１～５組男子：佐藤、鳴海、町田）

使用教科書： （ なし ）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】 体育について、下記の事項を身に付けることができるよう指導する。

【思考力、判断力、表現力等】 体育について、下記の事項を身に付けることができるよう指導する。

【学びに向かう力、人間性等】 体育について、下記の事項を身に付けることができるよう指導する。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けることができるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養うことができるようにする。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養うことができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	男女共修 【知識】次の運動を通して，体を動かす楽しさや心地よさを味わ，体つくり運動の行い方，体力の構成要素，実生活への取り入れ方などを理解するとともに，自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て，実生活に役立てることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】体つくり運動に主体的に取り組むとともに，互いに助け合い高め合おうとすること，一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとすること，合意形成に貢献しようとすることなどや，健康・安全を確保すること。体つくり運動に主体的に取り組むことができるようにする。	・ラジオ体操 ・体ほぐし運動のきづき ・アイスブレイク ・一人１台端末の活用 等	【知識・技能】リズムに乗って心が弾むような運動を行うことを通して，気付いたり関わり合ったりすること。緊張したり緊張を解いて脱力したりする運動を行うことを通して，気付いたり関わり合ったりすることができる。 【思考・判断・表現】生活様式や体力の程度を踏まえ，自己のねらいに応じた運動の計画を立案することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】仲間に課題を伝え合うなど，互いに助け合い高め合おうとすることができる。	○	○	○	3
	男子 【知識・技能】ゴール型では，状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができるようにする。 【思考・判断・表現】生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】球技に主体的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，合意形成に貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にし ようとすること，互いに助け合い高め合おうとすることなどや，健康・安全を確保することができるようにする。	アルティメット ・ディスクの投げ方、キャッチの仕方 ・ゲームの理解	【知識・技能】・自陣から相手陣地の侵入しやすい場所に移動することができる。 ・シュートやトライをしたり，パスを受けたりするために味方が作り出した空間に移動することができる。 【思考・判断・表現・選択した運動について，チームや自己の動きを分析して，良い点や修正点を指摘することができる。 ・課題解決の過程を踏まえて，チームや自己の新たな課題を発見することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】・球技の学習に主体的に取り組もうとすることができる。 ・フェアなプレイを大切にしようとすることができる。	○	○	○	7
	女子 【知識・技能】ゴール型では，状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができるようにする。 【思考・判断・表現】生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】球技に主体的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，合意形成に貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にし ようとすること，互いに助け合い高め合おうとすることなどや，健康・安全を確保することができるようにする。	バスケットボール ・基本的なパス ・ドリブル ・レイアップシュート ・ゲームの理解 ・ゲーム ・一人１台端末の活用 等	【知識・技能】・自陣から相手陣地の侵入しやすい場所に移動することができる。 ・シュートやトライをしたり，パスを受けたりするために味方が作り出した空間に移動することができる。 【思考・判断・表現】・選択した運動について，チームや自己の動きを分析して，良い点や修正点を指摘することができる。 ・課題解決の過程を踏まえて，チームや自己の新たな課題を発見することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】・球技の学習に主体的に取り組もうとすることができる。・フェアなプレイを大切にしようとすることができる。	○	○	○	7
	男女共修 【知識・技能】短距離走・リレーでは，中間走の高いスピードを維持して速く走ることやバトンの受渡しで次走者と前走者の距離を長くすること，長距離走では，ペースの変化に対応して走ることができるようにする。 【思考・判断・表現】生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】陸上競技に主体的に取り組むとともに，勝敗などを冷静に受け止め，ルールやマナーを大切にしようとすること，役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや，健康・安全を確保することができるようにする。	陸上競技 ・５０ｍ走 ・１０００ｍ走、１５００ｍ走 ・リレー	【知識・技能】・高いスピードを維持して走る中間走では，体の真下近くに足を接地したり，キックした足を素早く前に運んだりするなどの動きで走ることができる。 ・最も速く走ることのできるペース配分に応じて動きを切り替えて走ることができる。 【思考・判断・表現】・課題解決の過程を踏まえて，自己や仲間の新たな課題を発見することができる。 ・自己や仲間の課題を解決するための練習の計画を立てることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】陸上競技に主体的に取り組むとともに，勝敗などを冷静に受け止め，ルールやマナーを大切にしようとすること，役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや，健康・安全を確保することができるようにする。	○	○	○	3
	男子 【知識】勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい，技術などの名称や行い方，体力の高め方，課題解決の方法，競技会の仕方などを理解するとともに，作戦や状況に応じた技能で仲間と 連携しゲームを展開することができるようにする。ネット型では，状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができるようにする。 【思考・判断・表現】生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】球技に主体的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，合意形成に貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い高め合おうとすることなどや，健康・安全を確保することができるようにする。	卓球 ・基本的な打ち方 ・シングルとダブルスのルールの違い ・ゲームの理解 ・ゲーム ・一人１台端末の活用 等	【知識・技能】・ボールを相手側のコートの守備のいない空間に緩急や高低などの変化をつけて打ち返すことができる。 ・ボールに回転をかけて打ち出したり，回転に合わせて返球したりすることができる。 【思考・判断・表現】・選択した運動について，チームや自己の動きを分析して，良い点や修正点を指摘することができる。 ・課題解決の過程を踏まえて，チームや自己の新たな課題を発見することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】・球技の学習に主体的に取り組もうとすることができる。 ・フェアなプレイを大切にしようとすることができる。	○	○	○	7
	女子 【知識】勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい，技術などの名称や行い方，体力の高め方，課題解決の方法，競技会の仕方などを理解するとともに，作戦や状況に応じた技能で仲間と 連携しゲームを展開することができるようにする。ネット型では，状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができるようにする。 【思考・判断・表現】生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】球技に主体的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，合意形成に貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い高め合おうとすることなどや，健康・安全を確保することができるようにする。	テニス ・基本的な打ち方 ・シングルとダブルスのルールの違い ・ゲームの理解 ・ゲーム ・一人１台端末の活用 等	【知識・技能】・ボールを相手側のコートの守備のいない空間に緩急や高低などの変化をつけて打ち返すことができる。 ・ボールに回転をかけて打ち出したり，回転に合わせて返球したりすることができる。 【思考・判断・表現】・選択した運動について，チームや自己の動きを分析して，良い点や修正点を指摘することができる。 ・課題解決の過程を踏まえて，チームや自己の新たな課題を発見することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】・球技の学習に主体的に取り組もうとすることができる。 ・フェアなプレイを大切にしようとすることができる。	○	○	○	7
	男女共修 【知識・技能】記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，課題解決の方法，競技会の仕方などを理解するとともに，自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐことができるようにする。ア クロールでは，手と足の動き，呼吸のバランスを保ち，伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができるようにする。イ 平泳ぎでは，手と足の動き，呼吸のバランスを保ち，伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。【思考・判断・表現】生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。【学びに向かう力、人間性等】水泳に主体的に取り組むとともに，勝敗などを冷静に受け止め，ルールやマナーを大切にしようとすること，役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや，水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すすことができるようにする。	水泳 ・クロール ・平泳ぎ ・救命の方法(着衣泳等) ・一人１台端末の活用 等	【知識・技能】クロールでは、 水面上の腕は，ローリングの動きに合わせてリラックスして前方へ動かすことができる。泳ぎの速さに応じて，顔を横に向ける大きさを調節して呼吸動作を行うことができる。平泳ぎでは肩より前で，両手で逆ハート型を描くように強くかくことができる。 プルのかき終わりに合わせて顔を水面上に出して呼吸を行い，キックの蹴り終わりに合わせてグライドをとり，１回の腕の動き（ストローク）で大きく進むことができる。 【思考・判断・表現】選択した泳法について，合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して，成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えることができる。自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について，自己の考えを伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】・水泳の学習に自主的に取り組もうとすることができる。 ・勝敗などを冷静に受け止め，ルールやマナーを大切にしようとすることができる。	○	○	○	5
	男女共修 【知識・技能】記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，課題解決の方法，競技会の仕方などを理解するとともに，自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐことができるようにする。ア クロールでは，手と足の動き，呼吸のバランスを保ち，伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができるようにする。イ 平泳ぎでは，手と足の動き，呼吸のバランスを保ち，伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。【思考・判断・表現】生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。【学びに向かう力、人間性等】水泳に主体的に取り組むとともに，勝敗などを冷静に受け止め，ルールやマナーを大切にしようとすること，役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや，水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すすことができるようにする。	水泳 ・クロール ・平泳ぎ ・救命の方法(着衣泳等) ・一人１台端末の活用 等	【知識・技能】クロールでは、 水面上の腕は，ローリングの動きに合わせてリラックスして前方へ動かすことができる。泳ぎの速さに応じて，顔を横に向ける大きさを調節して呼吸動作を行うことができる。平泳ぎでは肩より前で，両手で逆ハート型を描くように強くかくことができる。 プルのかき終わりに合わせて顔を水面上に出して呼吸を行い，キックの蹴り終わりに合わせてグライドをとり，１回の腕の動き（ストローク）で大きく進むことができる。 【思考・判断・表現】選択した泳法について，合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して，成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えることができる。自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について，自己の考えを伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】・水泳の学習に自主的に取り組もうとすることができる。 ・勝敗などを冷静に受け止め，ルールやマナーを大切にしようとすることができる。	○	○	○	2

2学期	男女共修 【知識】次の運動を通して，体を動かす楽しさや心地よさを味わ，体つくり運動の行い方，体力の構成要素，実生活への取り入れ方などを理解するとともに，自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て，実生活に役立てることができるようにする。 【思考力，判断力，表現力等】生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力，人間性等】体つくり運動に主体的に取り組むとともに，互いに助け合い高め合おうとすること，一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとすること，合意形成に貢献しようとすることなどや，健康・安全を確保すること。体つくり運動に主体的に取り組むことができるようにする。	体つくり ・体ほぐし運動のきづき ・アイスブレイク ・ストレッチ、ヨガ ・一人１台端末の活用等	【知識・技能】リズムに乗って心が弾むような運動を行うことを通して，気付いたり関わり合ったりすること。緊張したり緊張を解いて脱力したりする運動を行うことを通して，気付いたり関わり合ったりすることができる。 【思考・判断・表現】生活様式や体力の程度を踏まえ，自己のねらいに応じた運動の計画を立案することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】仲間に課題を伝え合うなど，互いに助け合い高め合おうとすることができる。	○	○	○	3
	男子 【知識】勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい，技術などの名称や行い方，体力の高め方，課題解決の方法，競技会の仕方などを理解するとともに，作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。ネット型では，状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができるようにする。 【思考・判断・表現】生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力，人間性等】球技に主体的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，合意形成に貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い高め合おうとすることなどや，健康・安全を確保することができるようにする。	バドミントン ・基本的な打ち方 ・シングルとダブルスのルールの違い ・ゲームの理解 ・ゲーム ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】・ボールを相手側のコートの守備のいない空間に緩急や高低などの変化をつけて打ち返すことができる。 ・ボールに回転をかけて打ち出したり，回転に合わせて返球したりすることができる。 【思考・判断・表現】・選択した運動について，チームや自己の動きを分析して，良い点や修正点を指摘することができる。 ・課題解決の過程を踏まえて，チームや自己の新たな課題を発見することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】・球技の学習に主体的に取り組もうとすることができる。 ・フェアなプレイを大切にしようとすることができる。	○	○	○	8
	男子 【知識】次の運動について，感じを込めて踊ったり仲間と自由に踊ったり，自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい，ダンスの名称や用語，文化的背景と表現の仕方，交流や発表の仕方，課題解決の方法，体力の高め方などを理解するとともに，それぞれ特有の表現や踊りを身に付けて交流や発表をすることができる。創作ダンスでは，表したいテーマにふさわしいイメージを捉え，個々群で，対極の動きや空間の使い方で変化を付けて即興的に表現したり，イメージを強調した作品にまとめたりして踊ることができるようにする。 【思考・判断・表現】生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力，人間性等】ダンスに主体的に取り組むとともに，互いに共感し高め合おうとすること，合意形成に貢献しようとすること，一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとすることなどや，健康・安全を確保することができるようにする。	ダンス ・リズムダンスの踊り方やリズムの特徴の理解 ・表現や踊りにつながる動きや空間の使い方 ・創作ダンス	【知識・技能】ダンスでは，各ダンスで用いられる名称や用語があり，それぞれのダンスには，表現や踊りにつながる重要な動きや空間の使い方などのポイント及び安全で合理的，計画的な練習の仕方があることを理解する。 【思考・判断・表現】・選択したダンスについて，自己や仲間の動きや表現を分析して，良い点や修正点を指摘すること。 ・課題解決の過程を踏まえて，自己や仲間の新たな課題を発見すること。・自己や仲間の課題を解決するための練習の計画を立てることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】ダンスの学習に主体的に取り組もうとすることができる。 ・仲間の表現や踊りを認め合うなど，互いに共感し高め合おうとすることができる。	○	○	○	8
	男子 【知識】勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい，技術などの名称や行い方，体力の高め方，課題解決の方法，競技会の仕方などを理解するとともに，作戦や状況に応じた技能で仲間と 連携しゲームを展開することができるようにする。ネット型では，状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができるようにする。 【思考・判断・表現】生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力，人間性等】球技に主体的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，合意形成に貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い高め合おうとすることなどや，健康・安全を確保することができるようにする。	テニス ・基本的な打ち方 ・シングルとダブルスのルールの違い ・ゲームの理解 ・ゲーム ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】・ボールを相手側のコートの守備のいない空間に緩急や高低などの変化をつけて打ち返すことができる。 ・ボールに回転をかけて打ち出したり，回転に合わせて返球したりすることができる。 【思考・判断・表現】・選択した運動について，チームや自己の動きを分析して，良い点や修正点を指摘することができる。 ・課題解決の過程を踏まえて，チームや自己の新たな課題を発見することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】・球技の学習に主体的に取り組もうとすることができる。 ・フェアなプレイを大切にしようとすることができる。	○	○	○	8
	男女共修 【知識】運動やスポーツの技能と体力は，相互に関連していること。また，期待する成果に応じた技能や体力の高め方があること。さらに，過度な負荷や長期的な酷使は，けがや疾病の原因となる可能性があることを理解させる。 【思考力，判断力，表現力等】運動やスポーツの効果的な学習の仕方について，課題を発見し，よりよい解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力，人間性等】運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組むことができるようにする。	体育理論 ・スポーツにおける技術と体力 ・技術の上達過程と練習 ・効果的な動きのメカニズム	【知識・技能】運動やスポーツの技能は，体力と相互に関連しており，技能は，身長や体重などの体格や巧みさなどの体力との関連で発揮されることを理解できる。 【思考・判断・表現】運動やスポーツの効果的な学習の仕方について，概念と自己の状況を関連付けたりして，自己や社会についての課題を発見することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に，主体的に取り組もうとすることができる。	○	○	○	4
	男子 【知識・技能】勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい，技術などの名称や行い方，体力の高め方，課題解決の方法，競技会の仕方などを理解するとともに，作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。ベースボール型では，状況に応じたバット操作と走塁での攻撃，安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができるようにする。 【思考・判断・表現】生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力，人間性等】球技に主体的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，合意形成に貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い高め合おうとすることなどや，健康・安全を確保することができるようにする。	ソフトボール ・キャッチングとスロー ・ピッチング ・バッティング ・ｹﾞｰﾑ	【知識・技能】・身体全体を使ってバットを振り抜くことができる。 ・ボールの高さやコースなどにタイミングを合わせてボールをとらえることができる。 【思考・判断・表現】・選択した運動について，チームや自己の動きを分析して，良い点や修正点を指摘することができる。 ・課題解決の過程を踏まえて，チームや自己の新たな課題を発見することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】・球技の学習に主体的に取り組もうとすることができる。 ・フェアなプレイを大切にしようとすることができる。	○	○	○	8
3学期	男女共修 【知識】運動やスポーツの技能と体力は，相互に関連していること。また，期待する成果に応じた技能や体力の高め方があること。さらに，過度な負荷や長期的な酷使は，けがや疾病の原因となる可能性があることを理解させる。 【思考力，判断力，表現力等】運動やスポーツの効果的な学習の仕方について，課題を発見し，よりよい解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力，人間性等】運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組むことができるようにする。	体育理論 ・スポーツにおける技術と体力 ・技術の上達過程と練習 ・効果的な動きのメカニズム	【知識・技能】運動やスポーツの技能は，体力と相互に関連しており，技能は，身長や体重などの体格や巧みさなどの体力との関連で発揮されることを理解できる。 【思考・判断・表現】運動やスポーツの効果的な学習の仕方について，概念と自己の状況を関連付けたりして，自己や社会についての課題を発見することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に，主体的に取り組もうとすることができる。	○	○	○	4
	男子 【知識・技能】ゴール型では，状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができるようにする。 【思考・判断・表現】生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力，人間性等】球技に主体的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，合意形成に貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にし ようとすること，互いに助け合い高め合おうとすることなどや，健康・安全を確保することができるようにする。	フットサル ・インサイドキック ・ドリブル、シュート ・ゲームの理解 ・ゲーム ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】・自陣から相手陣地の侵入しやすい場所に移動することができる。 ・シュートやトライをしたり，パスを受けたりするために味方が作り出した空間に移動することができる。 【思考・判断・表現】・選択した運動について，チームや自己の動きを分析して，良い点や修正点を指摘することができる。 ・課題解決の過程を踏まえて，チームや自己の新たな課題を発見することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】・球技の学習に主体的に取り組もうとすることができる。 ・フェアなプレイを大切にしようとすることができる。	○	○	○	8
	男女共修 【知識・技能】短距離走・リレーでは，中間走の高いスピードを維持して速く走ることやバトンの受渡しで次走者と前走者の距離を長くすること，長距離走では， ペースの変化に対応して走ることができるようにする。 【思考・判断・表現】生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力，人間性等】陸上競技に主体的に取り組むとともに，勝敗などを冷静に受け止め，ルールやマナーを大切にしようとすること，役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや，健康・安全を確保することができるようにする。	陸上競技 ・持久走 ・タイムレース	【知識・技能】・高いスピードを維持して走る中間走では，体の真下近くに足を接地したり，キックした足を素早く前に運んだりするなどの動きで走ることができる。 ・最も速く走ることのできるペース配分に応じて動きを切り替えて走ることができる。 【思考・判断・表現】・課題解決の過程を踏まえて，自己や仲間の新たな課題を発見することができる。 ・自己や仲間の課題を解決するための練習の計画を立てることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】陸上競技に主体的に取り組むとともに，勝敗などを冷静に受け止め，ルールやマナーを大切にしようとすること，役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや，健康・安全を確保することができるようにする。	○	○	○	8
	男子 【知識・技能】ゴール型では，状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができるようにする。 【思考・判断・表現】生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに，自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力，人間性等】球技に主体的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，合意形成に貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にし ようとすること，互いに助け合い高め合おうとすることなどや，健康・安全を確保することができるようにする。	バスケットボール ・基本的なパス ・ドリブル ・レイアップシュート ・ゲームの理解 ・ゲーム ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】・自陣から相手陣地の侵入しやすい場所に移動することができる。 ・シュートやトライをしたり，パスを受けたりするために味方が作り出した空間に移動することができる。 【思考・判断・表現】・選択した運動について，チームや自己の動きを分析して，良い点や修正点を指摘することができる。 ・課題解決の過程を踏まえて，チームや自己の新たな課題を発見することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】・球技の学習に主体的に取り組もうとすることができる。・フェアなプレイを大切にしようとすることができる。	○	○	○	8
							合計 101

年間授業計画

大泉桜高等学校 令和5年度（2学年用） 教保健体育科　　科目 保健

教　科： 保健体育科　　科　目： 保健　　単位数： 1 単位

対象学年組：第 1学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（1組：鳴海 ）（2組：佐藤）（3組：佐藤）（4組：鳴海）（5組：鳴海）

使用教科書：（ 現代高等保健体育 大修館書店 ）

教科 保健体育科　　の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】健康について、自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。

【学びに向かう力、人間性等】生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれぞれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができる。

科目 保健　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。	健康について、自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれぞれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・交通事故を防止するには，車両の特性の理解，安全な運転や歩行など適切な行動，自他の生命を尊重する態度，交通環境の整備などがかかわること。また，交通事故には責任や補償問題が生じることを理解できるように指導する。	・事故の現状と発生要因 ・安全な社会の形成 ・交通における安全	・安全な社会づくりには，環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であること。また，交通事故を防止するには，車両の特性の理解，安全な運転や歩行など適切な行動，自他の生命を尊重する態度，交通環境の整備が関わること。交通事故には補償をはじめとした責任が生じることを理解している ・安全な社会生活について，安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考えているとともに，それらを表現している。	○	○	○	3
	・適切な応急手当は，傷害や疾病の悪化を軽減できること。応急手当には，正しい手順や方法があること。また，心肺蘇生等の応急手当は，傷害や疾病によって身体が時間の経過 とともに損なわれていく場合があることから，速やかに行う必要があるということを理化できるように指導する。	・応急手当の意義とその基本 ・日常的な応急手当	・適切な応急手当は，傷害や疾病の悪化を軽減できること。応急手当には，正しい手順や方法があること。また，応急手当は，傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから，速やかに行う必要があることを理解しているとともに，心肺蘇生法などの応急手当を適切に行う技能を身に付けている。 ・安全な社会生活について，安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考えているとともに，それらを表現している。	○	○	○	7
	・心肺停止状態においては，急速に回復の可能性が失われつつあり，速やかな気道確保，人工呼吸，胸骨圧迫，AED（自動体外式除細動器）の使用などが必要であることを理解できるようにする。その際，気道確保，人工呼吸，胸骨圧迫などの原理や方法については，実習を通して理解できるよう指導する。	・心肺蘇生法	・適切な応急手当は，傷害や疾病の悪化を軽減できること。応急手当には，正しい手順や方法があること。また，応急手当は，傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから，速やかに行う必要があることを理解しているとともに，心肺蘇生法などの応急手当を適切に行う技能を身に付けている。 ・安全な社会生活について，安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考えているとともに，それらを表現している。	○	○	○	4
	・定期考査			○	○	○	1
2学期	・生涯の各段階において健康についての課題があり，自らこれに適切に対応する必要があること及び我が国の保健・医療制度や機関を適切に活用することが重要であることについて理解できるようにする。	・ライフステージと健康 ・妊娠・出産と健康 ・避妊法と人工妊娠中絶	・生涯を通じる健康の保持増進や回復には，生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解している。 ・生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し，健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに，それらを表現している。 ・生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	・社会生活における健康の保持増進には，環境や食品，労働などが深くかかわっていることから，環境と健康，環境と食品の保健，労働と健康にかかわる活動や対策が重要であることについて理解できるようにする。	・結婚生活と健康 ・労働災害と健康 ・健康的な職業生活	・労働災害の防止には，労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があることを理解している。 ・生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し，健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに，それらを表現している。 ・生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	・人間の生活や産業活動は，自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすこともあること。それらを防ぐには，汚染の防止及び改善の対策をとる必要があるということを理解できるように指導する。	・大気汚染と健康 ・水質汚濁、土壌汚染と健康	・人間の生活や産業活動は，自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあること。それらを防ぐには，汚染の防止及び改善の対策をとる必要があること。また，環境衛生活動は，学校や地域の環境を健康に適したものとするよう基準が設定され，それに基づき行われていることを理解している。	○	○	○	2
	・定期考査			○	○	○	1

				○	○	○	1
3学期	・環境と食品の保健にかかわる健康被害の防止と健康の保持増進には，適切に情報を公開,活用するなど行政・生産者・製造者・消費者などが互いに関係を保ちながら，それぞれの役割を果たすことが重要であることについて理解できるように指導する。	・食品の安全性 ・食品衛生にかかわる活動	・食品の安全性を確保することは健康を保持増進する上で重要であること。また，食品衛生活動は，食品の安全性を確保するよう基準が設定され，それに基づき行われていることを理解している。 ・健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し，健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに，それらを表現している。 ・健康を支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	・生涯を通じて健康を保持増進するには，検診などを通して自己の健康上の課題を的確に把握し，地域の保健所，保健センター，病院や診療所などの医療機関及び保健・医療サービスなどを適切に活用していくことなどが必要であることを理解できるようにする。	・保健サービスとその活用 ・医療サービスとその活用 ・医薬品の制度とその活用	・生涯を通じて健康を保持増進するには，保健・医療制度や地域の保健所，保健センター，医療機関などを適切に活用することが必要であること。また，医薬品は，有効性や安全性が審査されており，販売には制限があること。疾病からの回復や悪化の防止には，医薬品を正しく使用することが有効であることを理解している。	○	○	○	4
	・定期考査			○	○	○	1 合計 35

年間授業計画

大泉桜高等学校 令和５年度（２学年用） 教科 **家庭** 科目 **家庭基礎**

教　科： 家庭　　　　科　目： 家庭基礎　　　　単位数：　　単位

対象学年組：第　２学年　１組～　５組

教科担当者：（1組：a三田　b津田）（2組：a三田　b津田）（3組：a三田　b津田）（4組：a三田　b津田）（5組：a三田　b津田）

使用教科書：（ 家基７０７　図説　家庭基礎　（実教出版）　　）

教科　家庭　　　　の目標：

【知　識　及　び　技　能】人の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、生活に関する知識を得、それらに関わる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】生涯を通して生活の問題点の解決策を構想し実践する。根拠を論理的に表現するなどし、課題解決できる力を身につけ

【学びに向かう力、人間性等】生活のあらゆる分野について、主体的に課題解決に取り組み主体的に地域社会に参画する態度を養う。

科目　家庭基礎　　　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自立した生活者として必要な衣・食・住生活及び消費生活・環境についての知識を実践を通して身につけるとともに他世代（子ども期・高齢期）についても知識を得て他世代への理解を深める。	生活の中のあらゆる場面で問題点を見いだし解決策を構想し、実践する。その後の振り返りで考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどし、課題を解決する力を身につける。	生活におけるあらゆる分野について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したり、よりよい社会の構築に向けて地域社会に参画しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
１学期	A人の一生と家族・家庭及び福祉 【知識及び技能】・ライフステージごとの発達課題やライフイベントについて理解する ・家族に関する法律を知り、その理念や現在の動きについて学習する。 ・子どもの身体の成長・発達について大まかな流れと特徴を学ぶ ・子どもを産み育てる意義と人間形成の過程について考える。 【思考力、判断力、表現力】 ・青年期の生き方について自立の観点から学習する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・男女参画社会の推進について理解する。（家事労働・職業労働） ・子育てにおける社会環境、仕事と子育てが両立できる環境について考える。	・講義、実習、個人での活動、グループワーク、考察、発表などを行い、指導目標について指導する。 ・教科書、プリント、実習物等を教材とする	・各ライフステージごとの発達課題について理解し、それぞれの発達段階で起こり得るライフイベントを関連させて理解することが出来る。 ・民法改正について理解し、法律と自分のかかわりについて理解する。 ・誕生から幼児期までの子どもの身体の発達について理解する。 ・生命の尊さ、子育ての意義について理解することが出来る。 ・自分自身の生活を見つめ、自立に向けて課題を発見し、将来の発達課題とも関わらせ自身の将来について思考・判断することが出来る。 ・男女参画社会など現在の社会状況について興味を持って知ろうとする態度がある。 ・家庭・集団保育の重要性を理解し、子どもが健やかに育つためにどのような社会的な環境が整えられているのか理解できる。	○	○	○	16
	B衣食住の生活の自立と設計（衣生活） 【知識及び技能】・簡単な小物製作を通して手縫いの基礎を体得する。 【思考力、判断力、表現力】・人と衣服のかかわりや衣服の機能について学習する 【学びに向かう力、人間性等】・衣服の入手、管理から処分までの流れを学習	・講義、実習、個人での活動、グループワーク、考察、発表などを行い、指導目標について指導する。 ・教科書、プリント、実習物等を教材とする	・手縫いの基礎を身につけ、簡単な衣服の修繕が出来る ・自然環境と衣服との関わり、社会環境と衣服の関係から衣服が持つ機能を理解する。 ・衣服の入手、管理から処分までの流れを理解し、	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
２学期	A人の一生と家族・家庭及び福祉（高齢者） 【知識及び技能】・高齢社会の現状、心身の変化と課題について学習する。 【思考力、判断力、表現力】・高齢者介護について、簡単な介助について体得する。 【学びに向かう力、人間性等】・介護保険制度について学び、自身の居住エリア	・講義、実習、個人での活動、グループワーク、考察、発表などを行い、指導目標について指導する。 ・教科書、プリント、実習物等を教材とする	・統計により、現在の高齢化の進む社会について理解することができる。加齢に伴う心身の変化や特徴について理解できる。 ・ボディメカニクスについて理解し、簡単な介助をすることができる。 ・介護保険のしくみを理解し、自身のこと、家族のことと結びつけながら考えようとしている。	○	○	○	8
	B衣食住の生活の自立と設計（食生活） 【知識及び技能】・５大栄養素と水について学習し、体とのつながりについて考える。 【思考力、判断力、表現力】・食べることと健康のかかわり、現代の食生活と問題点について学習する。・食中毒・食品表示の学習を通して食品衛生と安全について学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】・健康な	・講義、実習、個人での活動、グループワーク、考察、発表などを行い、指導目標について指導する。 ・教科書、プリント、実習物等を教材とする	・５大栄養素と水について体の中での働きを科学的な視点をもって知識を深めようとしている。 ・自分の食生活について振り返り課題を見つけ、改善に向 け積極的に取り組もうとしている。 ・食中毒・食品添加物等について学び適切な食品選び衛生管理ができる。 ・食事摂取基準・食品群別摂取量のめやすを利用しながら自分・家族の食事計画・献立作成ができる。	○	○	○	12
	B衣食住の生活の自立と設計（食・住生活） 【知識及び技能・思考力、判断力、表現力】・調理の一連の流れを実践し、その理論やコツを学習する。 ・一人暮らしの部屋探しを通して平面図の読み取り・快適な室内環境について学習し、自身の住まいについて表現する。 【学びに向かう力、人間性等】・環境に	・講義、実習、個人での活動、グループワーク、考察、発表などを行い、指導目標について指導する。 ・教科書、プリント、実習物等を教材とする	・調理実習において効率について判断しながら積極的に 取り組むことができる ・平面図を読み取ることができ、健康的な住まい環境における基本的な知識が身についている。自身の住まいについて考えることができる。 ・地域社会とのかかわりも含めて、よりよい住環境とは何かを理解できる。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
３学期	C持続可能な消費生活・環境 【知識及び技能】・家計の構成（収入・支出）を学習する。・様々な契約や主体的な消費行動について学習する。 【思考力、判断力、表現力】近年の消費者問題を捉え、他者に対して注意点を発信することができる。【学びに向かう力、人間性等】・持続可能な社会に向けて自らの行動や選択を見つめなおす。	・講義、実習、個人での活動、グループワーク、考察、発表などを行い、指導目標について指導する。 ・教科書、プリント、実習物等を教材とする	・家計の構成、収入と支出の種類と特徴がわかる。 ・契約の基本的なしくみを理解し、さまざまな支払方法や問題のある販売方法を理解する。 ・様々な消費者問題（悪質商法・多重債務）を理解し、他者に対して被害に合わないよう情報発信することができる。 ・実際の生活において、環境に配慮した消費行動をとることができる。	○	○	○	12
	【学びに向かう力、人間性等】・家庭基礎の１年間の学習を生かして自分らしい生活を設計する	・レポート	・家庭基礎の１年間の学習を振り返り、自分らしい生活 設計を立てることができる。	○	○	○	5
	定期考査			○	○	○	1
							合計 70

年間授業計画

大泉桜高等学校 令和5年度（2学年用） 教キャリアガイダンスⅡ 科目 キャリアガイダンスⅡ

教　科：キャリアガイダンスⅡ　　科　目：キャリアガイダンスⅡ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　5 組

教科担当者：（１組：小向）　（２組：天羽）　（３組：佐藤利）　（4組：井上孝）　（5組：谷藤）　（　組：　）

使用教科書：（ なし　）

教科　キャリアガイダンスⅡ　の目標：

【知識及び技能】探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。

【思考力、判断力、表現力等】実社会や実生活と自己の関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目　キャリアガイダンスⅡ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
単位制のカリキュラムを活かし主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付け、自らの進路を考えることができる力を養う。	進路実現のための情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	演習や体験活動に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよさを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりより社会を実現しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	上記キャリアガイダンスⅡの目標を達成するため、以下の項目を行う。 ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ Classi・Teamsの使い方指導 自らの進路について考える スタディサポートガイダンス 進路調べ学習 分野別進路ガイダンス	・実力テスト ・進路講演会、講義、考察、等を行い、指導目標について指導する。 ・一人1台端末も適宜活用する。	上記キャリアガイダンスⅡの目標を達成できていることを評価基準とする。 授業や講演を受けて、要点をメモでまとめてそれぞれの内容をClassiにまとめる。 まとめた内容は学期ごとに振り返ることができ、進路選択や科目選択に活かすことができるようになる。	○	○	○	14
2学期	上記キャリアガイダンスⅡの目標を達成するため、以下の項目を行う。 上記を指導目標とし、以下の項目を行う。 履修選択の指導 進路達成プログラム 自らの進路について外部講師による講演 社会人インタビュー 進路達成プログラム２ 進路達成プログラム３ 分野別進路ガイダンス	・講義、講演、ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ、考察等を行い、指導目標について指導する。 ・ﾜｰｸｼｰﾄ、自作課題等を教材とする。 ・学校据え置きのPCも使用する。一人1台端末も適宜活用する。	上記キャリアガイダンスⅡの目標を達成できていることを評価基準とする。 授業や講演を受けて、要点をメモでまとめてそれぞれの内容をClassiにまとめる。 まとめた内容は学期ごとに振り返ることができ、進路選択や科目選択に活かすことができるようになる。	○	○	○	14
3学期	上記キャリアガイダンスⅡの目標を達成するため、以下の項目を行う。 志望理由ガイダンス 面接指導ガイダンス 体験型進路ガイダンス 卒業生進路体験発表会	・講演、個人による活動、ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ、考察、発表、等を行い、指導目標について指導する。 ・ﾜｰｸｼｰﾄ、自作課題等を教材とする。 ・学校据え置きのPCも使用する。一人1台端末も適宜活用する。	上記キャリアガイダンスⅡの目標を達成できていることを評価基準とする。 授業や講演を受けて、要点をメモでまとめてそれぞれの内容をClassiにまとめる。 まとめた内容は学期ごとに振り返ることができ、進路選択や科目選択に活かすことができるようになる。	○	○	○	7
							合計 35